

地域医療連携広報誌

つながる医療



形成外科

形成外科顧問

よこお かずひさ
横尾 和久 医師



- 卒業年
1978年
- 資格
日本形成外科学会専門医
日本熱傷学会専門医
日本創傷外科学会専門医
日本手外科学会専門医
臨床研修指導医
医学博士

形成外科のアピールポイントを教えてください

当科は3名の常勤医師(2019年11月現在)で多様な外来、入院手術に対応しています。眼瞼下垂症に対する手術、皮膚腫瘍の切除、あざに対するレーザー治療などをおこなっています。またシミに対するレーザー治療、ケミカルピーリング、耳垂ピアスなどは、希望の方に自費での診療もおこないます。

眼瞼下垂について教えてください

眼瞼下垂は上眼瞼(上まぶた)の機能に障害が生じ、まぶたが開けにくくなる病気です。私は愛知医大に在籍していた頃から、約500例ほど手術を行ってきました。症状としては目が開けにくいだけでなく、目を大きく開こうと意識するため、肩こりや頭痛、前額部のしわの発生の原因となります。また不眠症やうつ症状が出る人もいます。眼瞼下垂になる原因は、コンタクトレンズを長年使用していることや、アレルギーや化粧を落とす際に目を擦ってしまうことや、まぶたを一重から人工的に二重にするための化粧品を使用することが挙げられます。

女性の発症数の方が多いのでしょうか？

まぶたへの刺激が原因となり発症する後天的眼瞼下垂は女性の方が多いと思います。ただし先天性のものは男女関係ありません。加齢が原因で発症することもあるので、高齢化が進む今後は男女を問わず眼瞼下垂の患者さまは増加すると考えています。

眼瞼下垂の治療期間はどのくらいですか？

治療は1泊2日の入院が理想ですが、患者さまと相談の上、日帰りでの治療も可能です。手術時間は局所麻酔をし、1時間半ほどで両目の手術が完了します。治療前後の変化が歴然で、患者さまにもすぐ見てわかっていただけたと思います。目が開けにくいなどの症状がありましたら、ぜひご相談ください。

形成外科で行っている主な手術件数

手術部位および手技	2017年	2018年
■皮膚・皮下組織	202	144
■筋骨格系・四肢・体幹	30	23
●眼瞼	43	71
眼瞼下垂症手術	38	67
眼瞼結膜悪性腫瘍手術	3	2
眼瞼内反症手術	2	2

あざの治療について教えてください

当院では、あざの治療はレーザー照射による治療を行っています。赤あざについては大学病院への紹介となりますが、青あざ、茶あざのレーザー機器(Qスイッチルビーレーザー)による治療が可能です。生まれつきのあざは早期の治療をお勧めします。赤ちゃんの皮膚は透明度が高く、あざの範囲も狭いため、高い治療効果が得られます。物心つく前に治療を終えることが理想です。

治療の期間はどのくらいかかりますか？

治療の期間はあざの範囲や度合によって異なります。1回のレーザー照射を10分弱(乳幼児は体の負担になるため2.3分の照射)で3カ月に1度のペースで通院となります。レーザー治療後はあざがなくなる上、シミや小じわも取れ、肌のツヤやハリも出ます。眼瞼下垂同様、治療前後の変化は、患者さまにもすぐ見てわかっていただけだと思います。



青あざのレーザー治療の術前と術後の写真

ワンポイントアドバイス



最近テレビや雑誌などでときどき話題になっているような、ほくろやシミなど体で気になることはありませんか？ほくろの原因であるメラニン色素は肌が紫外線を吸収することで増加するので、日焼け防止や肌のケアを怠らないようにしましょう。また、ほくろの形が左右対象でなかったり、色が均一ではなく濃淡があったり、短期間で大きくなったり(大きさが6mmを超える)した場合は、皮膚がんの可能性があるので、早めに皮膚科に受診していただくことをお勧めします。当院では場合によっては形成外科と連携して治療をさせていただきます。



先生の事をもっと知りたい！

●医師を志した理由は何ですか？

私が大学在学中、形成外科はまだ新しい分野で、講義をしている大学は少なく珍しい診療科でした。当時、中京病院の形成外科部長が講義をされ、その頃はまだ事故による体の傷は縫合して終わりの時代でしたが、その傷を目立たなくするところまで治療として携わる診療科であると知り興味を持ったからです。

●今までで特に印象に残っている症例はありますか？

愛知医大で働いていたとき、あざの治療で診ていた太田母斑(注1)の若い女性の患者さまです。生命にかかわらないが、顔の半分があざにより真っ青になる病で患者さまの悩みは深く落ち込んでいました。

当時あざのレーザー治療が急速に発展しており、この患者さまも3か月に1回程度のレーザー治療を3年ほど経て、傷跡を残さずあざをきれいに消すことに成功しました。以前はあざを髪で隠すような髪型にされていましたが、治療後は顔が出るショートヘアにされ、すごく喜んでみえました。その笑顔がとても印象に残っており、忘れられない症例です。

(注1)

目の周りや頬を中心とした片側顔面にできる青アザ。思春期以降の女性に多いのが特徴。

(日本形成外科学会HPより)

●休みの日は何をして過ごしていますか？

趣味の海釣りに出かけるのが楽しみです。大学時代の友人と30年以上にわたり、月1回程度で釣りに出かけています。越前海岸や伊勢湾に海釣りに行くことが多く、鯛やヒラマサなどを釣ります。時には90センチを超える大物の鯛を釣ったこともありました。釣った魚は家内がさばいてくれて、美味しくいただいています。

右の写真は5月9日越前湾で80センチ越えの鯛を釣りあげた時のものです。



詳しくは、地域医療連携室までお電話ください。

tel.0586-26-2366 (直通) fax.0586-24-9999

tel.0586-72-1211 (代表) ●受付時間：月～金 8:30～19:00 土 8:30～12:30 ※祝日、年末年始を除く

2019年11月発行